

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) KD-01-41号

令和元年7月10日発行

プランクトン及び貝毒検査を7月8日～10日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

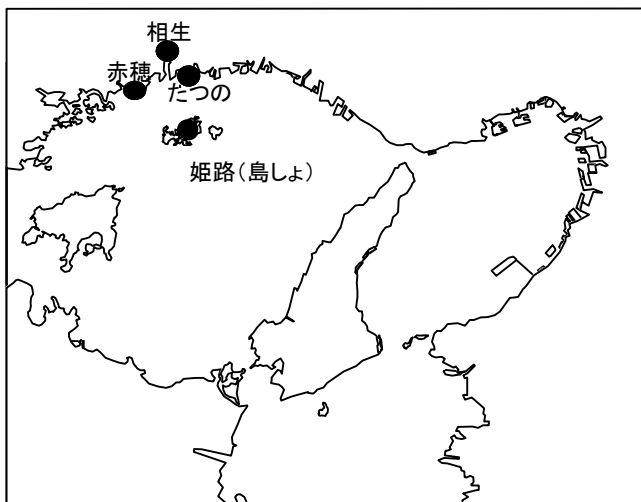
- 【概況】・貝毒検査(7/10)の結果、赤穂、相生、たつの、姫路で採取したイワガキから、規制値(4マウスユニット/g)を上回る麻痺性貝毒は検出されませんでした。
・貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。

【検査結果】

年月日(採水・採取)		R1.7.8	R1.7.8	R1.7.8	R1.7.8
地点(St.)		赤穂	相生	たつの	姫路(島しょ)
貝の種類		イワガキ(養殖)	イワガキ(養殖)	イワガキ(養殖)	イワガキ(養殖)
貝の毒化状況 [マウスユニット/g]		麻痺性貝毒			
麻痺性貝毒 原因プラン クトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/mL)	0	0	0	0
	アレキサンドリウム カテナラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/mL)	0	0	0	0
	※類似種を含む				
下痢性貝 毒原因プラ ンクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0	0	0
	ディノフィシス アキユミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0	0	0	0



※海水調査は、複数調査地点の結果を範囲で示しています。 ※NDとは、検出限界以下のことです。



＜規制の基準＞

可食部の毒量が
麻痺性貝毒:4マウスユニット/g
下痢性貝毒:0.16mg オキサ酸当量/kg } を超えた場合

＜注意が必要なプランクトン密度＞

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上
アレキサンドリウム カテナラ
Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

【今後の情報予定】

- ・調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§お問い合わせ先§

- ・貝毒による規制等に関すること：兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室(担当：漁場整備班)
Tel:078-341-7711(内4163、4164)
- ・貝毒調査に関すること：兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 中桐・宮原)
Tel:078-941-8602 Fax:078-941-8604 Homepage:http://www.hyogo-suigi.jp/